

公表日 2026年2月20日

事業所名 こばんはうすさくら 土浦教室

保護者等数(児童数) 1名 回収数 1件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1件				子どもがのびのびと活動できる十分なスペースが確保されていると感じます。	日々の活動において、児童が安全かつ安心して過ごせるよう、活動内容や人数に応じてスペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1件				いつも子ども一人ひとりに目が行き届いていると感じます。	引き続き法令基準を順守するとともに、活動内容や児童の状況に応じた適切な職員配置に努めています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	1件				写真やイラスト、掲示物がわかりやすく安心して過ごせています。 段差が少なく、動きやすい環境で安全面にも配慮されていると思います。	児童が見通しをもって安心して過ごせるよう、構造化された環境整備(活動区分・掲示・導線)を継続します。 パリヤフリー面・情報伝達について、定期的に点検・改善します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1件				いつも清潔に保たれており、気持ちよく利用できます。 遊びと学習のスペースが分けられていてわかりやすいです。	日々の清掃・消毒を継続し、清潔で心地よく過ごせる環境の維持に努めます。 活動内容や特性に応じた環境調整を行っています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1件				子どもの特性に合った支援を考えてもらっていると、安心して通わせています。	関わりやアクセスを通して児童の特性や発達段階を把握し、専門性をふんだんに支援を提供できるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1件				プログラムに沿った活動が行われており、安心して利用できています。	支援プログラムと支援内容の整合性を確認しながら、より効果的な支援の提供に努めています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	1件				子どもの特性や家庭での様子を丁寧に聞いた上で、支援計画をたててもらえていると感じます。	家庭との連携を大切にしながら、アセスメントや面談を通して個別支援計画の作成・見直しを継続してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1件				子どもの状況に合わせて、本人支援を中心に家族支援や今後を見据えた移行支援まで考えられていると思います。	本人・家族・移行支援の視点を踏まえ、児童の状況、保護者のご意向にも応じた支援計画の作成に努めています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1件				個別支援計画に基づいた支援が日々の活動に反映されていると感じます。	支援計画に沿った支援を継続し、定期的な評価と見直しを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1件				柔軟に調整し、子どもの興味関心を取り入れてもらえる点が有難いです。	児童の状況に応じ、より効果的で多様な支援の提供に努めています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1件				公園等の外出活動を通して、地域の中での経験を得られていると感じます。	児童の安全面に配慮しながら、公園活動や施設見学等を通して地域の子どもと関わる機会を設けています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1件				書面と口頭の両方で説明があり、理解しやすかったです。	ご契約の際に運営規定等の重要な事項について書面交付、および説明を適切に行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1件				支援の目的や内容について丁寧に説明があり、納得して同意できました。	支援計画を用いて保護者の方に分かりやすく説明することを心掛けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1件				研修会などはないが、面談や相談の機会があり、そういう面では家族への支援があると感じます。	研修会等の実施はありませんが、面談等を通して個別相談により家族支援を行っています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1件				HUGなどの連絡手段や送迎時のやりとりで日々の様子を丁寧に共有してもらっています。	連絡帳などによる情報共有、面談を通して保護者との共通理解を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1件				定期的に面談の機会があるほか、困り事がある際にはその都度具体的な助言をもらい、助かれています。	定期的な面談の機会を設けると共に、必要に応じて随时相談を受けて保護者との連携を大切にしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1件				不安なことを相談すると、丁寧に受け止めて対応してもらいます。	児童、保護者の気持ちに寄り添った暖りを大切にし、共感的な支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1件				今は特に設けられてはいないと思います。	現状ではそのような機会は設けていませんが、今後検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1件				いつでも相談できる雰囲気があり、声をかけやすいです。	相談しやすい環境づくりに努めると共に相談方法や対応体制について分かりやすく周知してまいります。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1件			子どもの理解度に合わせた声掛けをされていると感じます。また、連絡帳や送迎時の説明が分かりやすいです。	コミュニケーションを大切にして、児童、保護者が安心してやり取りできる環境づくりに努めてまいりたいです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1件			連絡帳やお便りで日々の様子が分かりやすく伝えられていると感じます。	各種情報では、定期的かつ分かりやすい発信に努めます。また、連絡体制や自己評価の結果も分かりやすく共有します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	1件			個人情報の取り扱いや写真掲載等について丁寧な説明があり、安心している。	個人情報保護に関する規定を遵守し、適切な管理と職員への周知徹底を行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1件			各マニュアルが作成され、入所時等に分かりやすく説明がありました。訓練もプログラムに組み込まれていて安心しています。	各種マニュアルを整備し、保護者に分かりやすく周知すると共に、訓練を通して児童が落ち着いて行動できるように取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1件			避難や救出訓練が定期的に実施されていると聞いており、災害時への備えがされていると感じている。	避難、救出を想定した訓練を実施し、児童、職員共に安全に行動できるように確認・改善を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1件			先生方の見守りが行き届いており、安全が確保されていると感じます。	安全管理に配慮し、職員間での情報共有を行いながら支援を実施してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1件			細かなことでも迅速に連絡をいただけているので安心しています。	発生状況や対応内容について、分かりやすく説明できるように心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1件			先生方との信頼関係がてきており、安心して通っています。	環境調整や関わり方を工夫し、安心感をもって通所できるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1件			笑顔で通所しており、楽しんでいると感ずます。	児童が楽しみながら通所できるよう、活動内容を工夫するなど通所意欲につながる支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1件			子どもが楽しんで通所しており、成長を感じられていて満足しています。	保護者の方からいただいたご意見を励みとし、今後も1人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を継続しまります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2026年2月20日

事業所名

こばんはうすさくら 土浦教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3件		活動内容に合わせて机や遊具の配置を工夫し、導線や安全面に配慮しています。	活動を別に行い、重なる場合は場所を分けて、落ち着いて過ごせる空間作りを行っていきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3件		利用人数、子どもの年齢、特性に応じた職員配置を調整しています。安全面と支援の質の両立を図っています。	活動が重なる時間帯や個別対応が多い場合にはより手厚い支援が必要なので、安心して過ごせる体制づくりに努める。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3件		活動ごとに場所をわけ、イラスト等視覚的に分かりやすいように工夫しています。段差の解消、導線の確保を行っています。	子どもの状況や特性の変化に応じて、掲示物や構造化の見直しをその都度行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3件		玩具や備品は定期的な清掃、消毒を実施し、清潔で活動しやすい環境になるようしています。	今後も清掃方法や環境整備を見直し、より快適で安全な環境づくりに努めます。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3件		子どもの特性やその日の状況に応じて、個別の部屋や落ち着いて過ごせるスペースを使用できます。	スペースの使い方や環境整備で、より個々に応じた支援も対応できるように検討していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3件		日々の支援や業務の中で職員が提案、発言しやすい環境づくりを行っています。	振り返りの機会を増やし、PDCAの定着を図っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2件	1件	アンケートの他に日々の連絡帳なども活用し、保護者の声を聞く機会を大切にしています。	いただいたご意見は職員間で共有し、業務改善につなげ、フィードバックの充実を図っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2件	1件	定期的に職員会議を行い、現場で感じた課題や意見を共有する機会を設けています。	意見収集が一部の職員に偏らないよう、全職員が参加しやすい環境をつくる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3件		外部評価の結果を職員間で共有し、課題や改善点について話し合いを行います。	外部評価を一過性のものにせず、継続的な振り返りを行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3件		教室ごとの内部研修や外部研修の参加機会を設け、職員の専門性向上に努めています。	職員個々の課題に応じた研修計画が十分ではないので個別性を高められるようにしていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3件		子どもの発達状況やニーズを踏まえ、適切な内容での作成を心掛けています。	職員間での理解に差が出ないように共有の確認の機会を充実させる必要があります。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2件	1件	アセスメント結果を職員間で共有し、多角的な課題やニーズから整理をし、作成をしています。	アセスメントの方法や視点について、職員間での統一を改めて行っていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3件		個別支援計画作成時には、職員全員とのカンファレンスをおこない、子どもの様子や支援の視点を共有しています。	計画作成後の会議などで内容を徹底し、全職員が支援目標をより明確に理解できるように努めています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3件		職員がいつでも確認できる場所にあり、作成後は個々がチェックで共有し、支援目標など共通理解を図っています。	非常勤職員への周知が不十分になる事もあり、支援の統一のために周知を徹底していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3件		日々の支援記録や申し送りを通して、子どもの適応行動の変化を継続的に把握するようにしています。	日々の観察が職員個々の主觀に偏りやすいため、観察視点や記録様式の統一を図る必要があります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2件	1件	本人支援が主になるが、職員間で各視点を意識した様式を用いて、支援の偏りがないように計画を設定しています。	支援内容が目標に対して十分に具体化されていない部分があり、実践につながるような環境を整える必要があります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3件		定期的なミーティングなどを設け、職員感で意見の交換ができるように工夫しています。	振り返り内容の共有が不十分なことがありますため、記録方法や共有手段の見直しが必要になります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2件	1件	職員間でアイデアを出し合ってバリエーションを増やしたり、季節の活動なども入れています。	記録を活用し、活動の偏りがないか確認したり、定期的にプログラム内容を見直していくようにします。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2件	1件	子どもの状況に応じ、基本的には集団活動のなかで必要に応じて個別で対応できるように支援しています。	個別支援計画の内容が日々の支援により明確に反映できるように振り返りを充実させるよう努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3件		支援についてのミーティングは短時間でも実施し、役割分担などを明確にして混乱なく支援ができるようにしています。	新任職員や非常勤職員にも役割や支援方針が分かりやすく伝わるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3件		支援終了後に短時間でも職員間で情報共有の時間を設け、支援内容や子どもの様子を振り返っています。	非常勤職員も含め、全職員が振り返り内容を把握できる仕組みを整えていきます。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2件	1件	気づきや課題は職員間でその日のうちに記録し、職員間で把握できるように申し送り等で活用しています。	記録が事実の記載にとどまりがちなため、どう活かすか等振り返りの視点を強化していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3件		保護者の意向や家庭での様子を聞き取り、個別支援計画の見直しに反映しています。	モニタリングの内容や計画変更について、保護者への説明・共有をさらに丁寧に行っていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2件	1件	会議等がある場合は日常的に子どもに関わっている職員が参加するように調整しています。	職員間で子どもの理解に差が出ないように日頃からの情報共有や会議の機会を設けるよう努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3件		園、学校での困り事を踏まえて、支援内容を個別支援計画に反映しています。	保護者を通じた情報共有に偏りがちなため、関係機関との連携強化を検討します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3件		園等での集団生活を見据え、併用利用などを意識した支援や児童発達支援での関わり方や支援内容に対応できるようにしています。	園等との直接的な情報共有の機会が少ないので、連携方法の検討が必要です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2件	1件	情報共有の機会が限られているため、保護者を通して支援内容や子どもの特性を整理し、伝えられるようにしています。	保護者と連携しながら、学校との情報共有を進める体制づくりを検討していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3件		現時点では地域全体での取組に参加する機会は少ないが、支援の中で関係機関との情報共有や相談対応を丁寧に行っています。	地域全体の質の向上に向け、情報共有等の場を積極的に活用する体制づくりが課題となります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2件	1件	外部研修の案内を職員間で共有し、勤務状況に配慮しながら参加を促しています。	専門機関からの助言を定期的に受けられる体制づくりが課題になります。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2件	1件	現時点ではこども部会等の参加の機会はないが、開催情報や地域の動向については情報収集に努めています。	参加が可能となった際は得られた情報や意見を事業所内で共有し、支援の質の向上につなげていきたいです。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2件	1件	現時点では機会は少ないが、関係機関との連携を意識し、保護者の同意を得たうえで情報共有を行うように努めています。	助言を受ける機会が十分でないため、計画的な相談や情報交換の場を設けるように努めています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	2件	1件	決まった機会はないが、外出活動の際に公園や施設などの交流をもてるような機を設けている。	子ども一人ひとりの特性や状況に配慮しながら、段階的に交流の幅を広げていきます。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3件		連絡帳や送迎時を通して、日々の様子や小さな変化も保護者と共有できるように環境づくりに努めています。	職員間でも保護者からの情報の共有を徹底できるようにし、共通理解を深めていきます。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3件	本人支援が中心なので現時点では行っていないが、面談や日常のやり取りの中で支援につながる情報提供を心がけています。	保護者への情報提供が都度できるように職員間でも周知していくように体制を整えます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3件		契約時や利用開始時に運営規定や利用者負担、プログラムについて書面を用いて説明を行っています。	一度の説明では理解が難しい場合もあるので、定期的に内容を振り返る機会を設けていきたいです。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2件	1件	個別支援計画の作成、見直しの際に保護者との面談を行い、家庭の様子やご希望を確認しています。	職員間で意向確認の内容を共有し、計画作成の際により一貫して作成できるように体制を整えていきたいです。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3件		個別支援計画作成後、保護者に対して面談や書面を用いて内容を丁寧に説明しています。	説明の時間が十分に確保できない場合があるため、計画的に面談の機会を設けていきたいです。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3件		送迎時や連絡帳、電話などを通じて日頃から保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。	保護者が相談をため込まないよう、相談できる機会や方法について周知していく必要があります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3件	本人支援が主ですが、保護者やきょうだいの状況を把握し、今後の支援につなげるようにしていきたいです。	現在は設けていないが、今後保護者等のご意見を伺ながら機会を設けていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3件		相談内容は職員間で共有し、チームで検討することで適切な支援につなげています。	相談内容の流れや対応期限について、職員間でより共通理解を図るようにします。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3件		事業所のInstagram等のSNSを活用し、活動の様子等を定期的に発信しています。	SNSを活用しない保護者にも情報が行き届くように、紙媒体などの連絡手段も検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3件		個人情報保護に関するマニュアルを整備し、職員間で内容を共有しています。	新任職員や非常勤職員に対する個人情報保護に関する研修・周知が十分でないため定期的な研修機会を設けたいです。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3件		連絡帳や送迎時の口頭説明等、保護者の状況に応じた複数の連絡手段を使い分けています。	忙しい保護者にも伝わりやすいよう、連絡内容を簡潔にまとめる工夫を検討します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3件		将来的には地域の方を招いた行事が実施できるように、職員間で意見交換をしています。	まずは規模の小さい行事から、地域の方を招待する機会を検討していきます。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2件	1件	それぞれ必要なマニュアルを整備し、職員がいつでも確認できるように環境を整えています。	訓練後には振り返りを行い、課題点を整理し、マニュアルや支援体制の改善につなげます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3件		地震や火災を想定した避難訓練を定期的に実施し、非常時の行動について確認しています。	職員だけでなく、保護者にも災害時の対応方針や引き渡し方法等を分かりやすく周知していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		ご契約時の面談やアセスメントを通じて服薬状況、予防接種、てんかん等の既往歴や注意点について把握しています。	情報の更新漏れを防ぐため、定期的に保護者へ確認を行い、最新の状況を把握できるような体制を整えます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3件		利用開始前に食物アレルギーの有無を保護者から聞き取りを行い、医師の指示に基づき対応をしています。	医師の指示内容について、定期的に保護者に確認をし、最新の情報にする仕組みを整えます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3件		日々の支援の中でも危険箇所やヒヤリハットを職員間で共有し、安全管理に努めています。	新任職員や非常勤職員に対しても、安全管理に関する研修が確実に行き届く体制を整えていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3件		連絡帳や面談時などを通して、安全対策や緊急時の対応方針について共有するようになっています。	周知後に保護者からの質問や意見を把握し、安全計画の見直しや改善を図っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3件		日々の支援の中で発生したヒヤリハット事例について、記録をおこない職員間で共有しています。	再発防止策について具体的な対応方法を整理し、マニュアルや支援方法に反映させていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3件		年1回以上、虐待防止・身体拘束適正化に関する研修を実施しています。	研修が座学中心になりやすいため、ロールプレイを取り入れ、実践的な内容にしていくように努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3件		身体拘束については、管理者、児童発達支援管理責任者を中心に職員間で協議し、組織的に判断しています。	身体拘束の判断基準について、事例を交えた職員研修を定期的に実施し、理解の統一を図ります。